



令和5年第2回定例会

議会だより

● もくじ

第2回定例会及び第3回臨時会 審議された議案と結果……………	P 2
第2回定例会 一般質問……………	P 3
議案の審議要旨……………	P 7
各常任委員会……………	P 8
議会の動き……………	P 9
議会改革特別委員会など……………	P 10
編集後記……………	P 10

第187号

令和5年9月

発行／喜茂別町議会
編集／議会広報編集委員会



少子化対策として 町が結婚支援を



山下 純議員

町長：5つの観点から 支援策を検討したい

先日の厚生労働省の発表によると、2022年に生まれた子どもの数は77万747人となり、過去最少を更新した。また、女性1人が生涯に産む子どもの推定人数を示す合計特殊出生率は1.26でこちらも過去最低となった。

国は次元の異なる少子化対策として、様々なアイデアを公表しているが、それに対しても様々な意見が出ている。中でも私が感じるのが、この対策の大部分が、出産育児一時金の増額、児童手当の所得制限撤廃、教育費の支援など、あくまでも既婚者を主なターゲットとしていることである。

しかし、私は少子化の最大の要因は未婚化だと思っている。もちろん、安定した収入が見込めないから結婚できないという人も多いとは思いますが、安定した収入が見込めたとはいえない人などいると思う。

本町の総合計画には「結婚、出産、子育て」といった個人の希望がかなえられるような環境づくりに取り組み」と書かれている。出産、子育てに関しては、国も動いているようだが、結婚に関しては動きが鈍いと思う。

さらに、結婚については、住民により近い地方自治体こそが積極的に支援するべきだと思うが、町長の考えを伺う。

内村町長

少子化と結婚の問題については、密接に関連するものと思っている。

本町におけるニーズの把握や町としてのどのような支援が可能なのか、多面的な検討を進めてまいりたい。

結婚は個人の幸福や社会の安定につながる重要なステップであり、多様な人々が幸せな結婚を築けるよう、サポートするところが求められていると思う。

このため次の5つの観点から有効な支援策を検討したい。

1つ目は、パートナーシップの築き方やコミュニケーションスキルなどの知識、結婚に関する情報の提供や教育プログラムの提供について。

2つ目は、異なる背景やライフスタイルを持つ人に、多様な形態の結婚のあり方をサポートする多様性への対応について。

3つ目は、結婚には様々な困難や課題が伴うことがあるので、カウンセリングの機会とサポートの機会を確保すること。

4つ目として、結婚資金の支援や低所得者向けの補助制度など経済的な支援への対応について。

5つ目は、結婚支援については、法的な枠組みも重要となるので、パートナーシップに関する権利や保護に関する観点からの対応である。

これらの観点から本町にあった結婚支援策のあり方について、外部の専門家などの意見も踏まえ、検討を進めてまいりたい。

一般質問 要旨

一般質問とは、議員個人が町政全般について町長等に質問し、適切な町政運営を進めているかをチェックするものです。

令和5年第2回定例会（6月20日）

町長より地域防災計画の修正に伴う公表について行政報告がありました
議員より以下4件の一般質問がありました（3ページ参照）

- ①結婚支援について
 - ②人口減少を抑えるための宅地開発について
 - ③人件費と職員定数について
 - ④新たな地域の足を確保する取り組みについて
- 審議内容は、以下のとおりです

<報告>

令和4年度喜茂別町一般会計 繰越明許費繰越計算書	戸籍システム改修事業 農地利用効率化等支援事業 産地生産基盤パワーアップ事業	458万7千円 213万8千円 5,876万2千円	報告済み
-----------------------------	--	---------------------------------	------

<人事>

農業委員会委員の任命 (任期：令和5年7月20日 ～令和8年7月19日)	小出 浩一郎さん 渡辺 雄一さん 行天 雄也さん	内尾 勝稔さん 前田 昌明さん 越後 功さん	齊藤 信一さん 鷹羽 欣司さん 小熊 英実さん	原案同意
--	--------------------------------	------------------------------	-------------------------------	------

<条例改正>

こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	こども家庭庁設置法が令和5年4月1日に施行されたことに伴い、子ども・子育て会議条例など4つの条例において引用する法令の条ずれや主務大臣を変更	原案可決
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	令和4年に静岡県で発生した送迎バスへの置き去り事案を受け、安全管理の徹底を義務づける	原案可決
放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	児童の安全確保に関する計画の策定に係る規定、バス送迎の安全管理徹底に係る規定などを加える	原案可決
喜茂別町議会情報公開条例	議会情報公開審査会の任期を2年から4年へと改正	原案可決

<令和5年度補正予算>

一般会計（第2回）	旧中学校敷地を雪捨て場として整備する費用、生活応援商品券、住民税非課税世帯等支援給付金など物価等高騰対策事業費、児童生徒に貸与するための自転車用ヘルメット購入費用など8,641万4千円増額	原案可決	質問あり 7ページ
国民健康保険特別会計（第1回）	医療系システム端末の価格変更に伴い7万3千円増額	原案可決	
簡易水道事業特別会計（第1回）	職員の転居、水質検査手数料などで73万4千円増額	原案可決	

<意見案>

ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書	請願者 全道林活連携連絡会 幹事長 三好 雅 提出者 山下議員 賛成者 越後議員 岩部議員 提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣等	原案可決
---	---	------

令和5年第3回臨時会（5月9日）

町長より民間事業者による太陽光発電事業計画について行政報告がありました
審議内容は、以下のとおりです

<条例改正>

町税条例等の一部を改正する条例	森林環境税導入に伴う改正など	原案可決
国民健康保険税条例	税負担の公平性の確保、中・低所得者層の税負担軽減を図るため、賦課限度額、軽減判定基準額を改正	原案可決

<協定の締結>

工事委託に関する協定の締結	目的：きもべつ浄化センターの建設工事 相手：日本下水道事業団 金額：2億1,200万円	原案可決
---------------	--	------

<財産の取得>

取得する財産	名称：デジタルX線透視撮影システム 相手：株式会社マック 金額：858万円	原案可決
取得する財産	名称：小型除雪車 相手：北海道川崎建機株式会社倶知安支店 金額：3,740万円	原案可決

人件費と職員定数に ついでにの考えを問う



林 己人議員

町長：バランスを考え、見直しを図る

職員採用の停止や業務のアウトソーシングにより定員の抑制を図ったが、年齢バランスの問題は今後の定年延長などにも影響を及ぼすことから今後の検討課題としたい。

人口が1900人と仮定すると、現状では4から5名多いが、単純な人口比の職員数とした場合に、行政サービスの低下となるので、当面の間現状維持を基本とした。

内村町長

本町は中途採用者が多く、35歳から50歳までに人件費が跳ね上がるバランスの悪い年齢構成となっている。

職員の定数の長期的な考えと、管理職を多数登用し管理職手当を削減している事について答弁願う。

林議員

町長は、副町長の職務も一人で行い、人件費の削減に努め、業務改革を行うと思っていたが、4月に副町長を任命し、かつ、社会人の中途採用を行い、現在60名の職員数となっている。

(再答弁) 内村町長

若い職員のこれからの生活運営も考慮した中で、他の町村との状況比較の中で、職員の確保をしていくことが必要と思う。

職員数は、類似団体との比較では若干多いが、山麓の近隣の町村と比べると少ない。

若い職員が、意欲を持って職務に邁進できる体制づくりも念頭に置き、職員の業務見直しを含めた確保について検討を進めてまいりたい。

(再々答弁) 内村町長

町民の方のご意見、私も若干そういった話については伺っている。

研修と管理職の指導を含めて、今後さらに研修等の充実を図ってまいりたい。

また、挨拶の件については、私も基本的なところについては非常に大切なことであると思う。

さらに周知、指導を徹底してまいりたい。

人口減少対策として宅地開発を



越後宏明議員

町長：加森観光の件と合わせて検討

越後議員

全国的に少子高齢化が進む中、人口減少に歯止めがからかない。

本町もこの状況がすぐ改善されるとは思えない状況である。

私は、これからの本町の人口減少に待ったをかけるには、他市町村から本町に定住してもらうことも大切だが、本町に住んでいる町民が、他の市町村に移住しないような環境を町が用意するのも一つだと考える。

隣の京極町では、平成24年と平成29年に、宅地120坪を16区画、町が坪1万円円で販売して、抽選になるほどの事業になったと聞いている。

定住者促進の観点からとても良い事業だと思う。

今一番この町に必要なのは、本町の未来のために人口の減少を少しでも抑えることであると考える。

本町に定住していただくためにも、行政側が宅地を販売する事業の検討も必要と考えるが、本町の宅地の開発についてどう考えるか伺う。

内村町長

現状では分譲地となるような一団の土地がない状況である。

そのような中、クレードル興農株式会社と喜茂別町内に所有する宅地について、市街地に唯一残された一団の宅地として有効な活用策について、現在、町として検討を進めている。

また、宅地分譲とは別に、現在、加森観光株式会社が雇用する従業員向けの住宅建設を計画検討されており、実現に向けて支援などを含め検討したい。

(再質問) 越後議員

クレードルの宅地を加森観光に貸すという話が進んでいるが、最初にまず一棟建てて、あとはまだ未定のような話をしていたと思う。

しかし、一棟建てた後にうやむやになって雪捨て場になるような気がする。

それであれば、最初から加森観光に、半分は町民のための宅地にするとということを進めていただきたい。

加森観光ときちんと話をするのであれば、4棟建ててもらおう

(再答弁) 内村町長

加森観光の計画についても、一度お示しをいただいているが、さらに町の方としてもその利活用について、ご指摘の部分も含めて、調整をしておかなければならないと思っている。

また、加森観光の状況についても、さらに詳しく話を伺いながら、これから具体的なところを詰めてまいりたい。



第25回きもべつ夏まつり花火大会

(再々質問) 林議員

町長就任から3年が経つ。

金元町長は菊地初代町長に「役場はサービス業だ。人に挨拶する時は先に声を出し、おはようと言えるようにしなければだめだ。」と教えられたそう。

現在、役場職員の笑顔もなければ、パソコンばかり見て振り向いてくれぬとの声を聞く。

職員をただ単に増やすことではなく、住民対応の研修と特に管理職の指導能力が問われる。

職員の意識の向上とスキルアップについて答弁願う。



阿部昭司議員

新たな地域の足を確保する取り組みを

町長：7月を目途に協議会を開催したい

阿部議員

本年3月の定例会でもデマンドタクシーについて質問したが、当時町長の答弁では、「個別の方々へタクシーチケットの配布も方法ではないかと思う。令和5年度の中で一定の方向を出せるよう進めて参りたい」という事だった。

私はこの4年間一貫して提案をしてきたが、今現在実現に至っていない。

今後の令和5年度におけるスケジュール等具体的に教えていただきたい。

現在、本町には乗客がいてもいなくても決められたルートを時刻通り走るウサパラ号が運行している。

それとは異なり、乗り合いバス、デマンドタクシーは電話予約で希望に近い時間や場所で乗り降りすることが最大の特徴である。

この事について多くの町民が希望されている。

新聞報道でも国土交通省では生活交通維持に対する国の補助金対象は2023年度には85市町村まで拡大予定とある。

本町においても、試験的に利用される場所の設定をする等、この事業を積極的に活用することが必要であり財政負担の軽減にも繋がると思う。

今現在、この件の取り組みについては、国土交通省と確認がされているのか町長に伺う。

内村町長

デマンド方式など新たな地域公共交通の導入については、高齢者をはじめとする利用者のニーズに対応したサービスを提供できる柔軟性に優れた交通手段として必要であると認識をしている。

7月を目処に喜茂別町地域公共交通活性化協議会を開催し、65歳以上を対象にしたニーズの調査と、事業者へのヒアリングを行い、デマンド方式やタクシーチケットの配布など、本町としての望ましい地域の足を確保する取り組みの実施に向けて進めたい。

補助金の活用については、地域公共交通計画の策定が必要となっており、現在、補助制度の活用方法を含め、計画策定に向けて進めている。

(再質問) 阿部議員

地域公共交通活性化協議会を立ち上げるという力強い言葉をいただき一歩前進したと認識している。

これから色々な運送業者とヒアリングされるだろうなど。

しかし、私が考えているのはまず試験的に、例えば環境改善センター、ふれあいセンター、病院、歯科医院、買い物、墓参に伴うお寺の6つを対象に絞って、スタートをさせることが大事だと思っている。

これについて町長の考えを伺う。

(再質問) 内村町長

ただ今いただいた様々な利用の方法についても、この地域公共交通活性化協議会の中で、ご意見等もいただきながら、議員ご指摘のとおり、実証実験のような取り組みを、ニーズの把握も含めて進めながら、本格的な実施に向けた検討をしたい。

議案の審議要旨

一般会計補正予算(第2回)

岩部議員

本町は国道230号線、276号線、道道喜茂別停車場線など多くの車両、大型車が走行しており、自転車の走行については、非常に危ない。

13歳未満や70歳以上など、歩道を走行できるとなっているが、中学生は例外規定から抜けられているためどのような走行を指導していくのか。

丸屋教育次長

中学生は、基本的に車道の左側を走ることになっており、そのような形で指導をしている。

また、7月18日に北海道警察と北海道交通安全協会並びに町内関係団体等が参画した交通安全教室も開催を予定しているのので、指導していきたい。

小川議員

(編集委員註：例年使用していた市街地に近い民有地の雪捨て

て場が今年度から使用できなくなったため、新たに旧中学校グラウンド敷地を整地すると説明あり)

秋山建設課長

旧中学校グラウンドだけで、従前使われていた雪捨て場は確保できるという考えか。

小川議員

昨年まで、約1万平米活用していたが、今回8千平米ということで、若干減少する。雪の処理を、どの程度までするのか、他の堆積場の容量にもよるので、工夫しながら考えていきたい。

(編集委員註：児童生徒自転車用ヘルメット購入と説明あり) 自転車用ヘルメットは、貸し出しじゃなくて支給されるのか。

あと、転倒した時に膝とか肘へのサポーターもあった方が安全とは思いますがどのように考えているのか。

丸屋教育次長

貸与と考えている。4月1日からヘルメット義務

となったので、まずヘルメットの購入という形で進めている。

山下議員

住民税非課税世帯等支援給付金は、非常に分かりやすい「町に落ちるお金」という事例だと思いで、是非とも全額、国に返すことなく町民に支給することが必要だと思っている。

前回は50万円が未申請のため返還していたので、お願いしても申請していただいで給付することが大切と思つていて、町長の答弁を伺う。

内村町長

地域経済の状況を考えたときに議員ご指摘のところについては十分認識をしているが、支給にあたっての個人の考えといったものも重要なところである。できるだけ努力はするが、個人の判断になるかと思う。

林議員

生活応援商品券について、令和4年度は町民一人当たり1万円の発行であった。昨年以上に物価高騰し商店も売り上げはコロナ前に戻ってお

らず、また、町内には年金暮らしの方々もたくさんいる。

一般財源を使用してでも昨年並みとするべきではないか。

内村町長

1つには子育て世帯への配慮が、国の物価等高騰対策の中で示されている。

今後の経済の状況等もしつかりと把握をした上で、さらなる給付が必要であると判断した場合は、一般財源を用いての給付の検討についてはやぶさかではないと考えている。

林議員

昨年度も、プレミアム商品券1万5千円として3千円増額して販売した。強い要望があった場合に一般財源を使用してでも、秋にはプレミアム商品券で地域の活性化をするという気持ちはあるか。

内村町長

先ほどの追加給付の状況も踏まえながら、また、商工会との意見交換等も行つて町民の少しでも助けになるような形での対応を行つていければと考えている。

議会の動き

令和5年5月17日～令和5年8月7日

月	日	行 事	出席者	場 所
5	18	北海道横断自動車道「黒松内～小樽間」全線開通に向けた勉強会in永田町	議長	東京都
	23	羊蹄山ろく消防組合議会 臨時会	組合議員	倶知安町
		羊蹄山麓環境衛生組合議会 臨時会	組合議員	倶知安町
	24	総務常任委員会	全委員	
		後志町村議会議長会 役員会・臨時総会	議長	倶知安町
	25	後志広域連合議会 全員協議会・臨時会	組合議員	倶知安町
	27	喜茂別中学校 陸上競技大会	各議員	
		倶知安町高架橋起工式及び安全祈願	議長	倶知安町
		喜茂別消防 春季消防演習	各議員	
29	後志総合開発期成会 定期総会	議長	倶知安町	
6	3	喜茂別小学校運動会・鈴川小学校運動会	各議員	
	6	総務常任委員会	全議員	
	14	議会運営委員会	全委員	
	15	後志町村議会議長会 臨時総会	議長	札幌市
		北海道町村議会議長会 定期総会・研修会	議長	札幌市
		羊蹄山麓町村議会正副議長会 臨時総会	正副議長	札幌市
		喜茂別町観光協会 定時社員総会	総務委員長	
	20	第2回定例会	全議員	
	23	後志総合開発期成会 小樽・後志要望活動	議長	小樽市他
	24	喜茂別保育所 運動会	各議員	
	25	第11旅団創立15周年記念及び真駒内駐屯地開庁69年記念式典	議長	札幌市
	26	後志総合開発期成会 北海道要望活動	議長	札幌市
	27	羊蹄山ろく消防組合議会 臨時会	組合議員	倶知安町
	28～29	後志総合開発期成会 懇談会・中央要望活動	議長	東京都
7	4	議員研修会（北海道町村議会議長会主催）	全議員	札幌市
	6	総務常任委員会	各委員	
	9	倶知安駐屯地創立68周年記念式典	議長	倶知安町
	11～13	羊蹄山麓町村議会正副議長会 正副議長研修	正副議長	東京都他
	19	新任議員研修会（北海道町村議会議長会主催）	関係議員	札幌市
	21	議会改革特別委員会	全委員	
	26	全員協議会	各議員	
	28	戦没者追悼式	正副議長	
8	3	総務常任委員会	全委員	
		経済常任委員会	全委員	
	7	議会広報編集委員会	各委員	

各常任委員会

総務常任委員会

5月24日開催

財産の取得について

加森観光が計画している社宅及び多目的住宅4棟300戸建設のために、クレードル旧社宅用地を取得したいとの報告がありました。

町有財産の処分について

旧第二喜茂別小学校（知来別）の跡地を一般競争入札で処分したいとの報告がありました。

6月6日開催

鈴川小学校の今後の方向性について

教育委員会では、今後の児童数の推移から安定した持続可能な学校運営が難しいこと、未来社会を生きる力の育成に向けた学び方の変革、また小規模校が抱える課題解消等から、令和6

7月6日開催

学校訪問実施

鈴川小学校、喜茂別小学校、喜茂別中学校の授業を視察し、先生との懇談を行いました。

年度をもって閉校とし、令和7年度に喜茂別小学校と統合するとの方向性に至りました。保護者への説明会では明確な反対意見はなく、今後、地域住民に対して説明会を開催し、結論を出していくとの報告がありました。

寄付行為の禁止

議会議員は、選挙区内の方にお金や物を贈ることは、法律で禁止されています。また、有権者が求めてもいけません。ご理解をお願いいたします。



学校訪問の様子（左から喜中・喜小・鈴小）

8月3日開催

生ごみ堆肥化施設等（知来別）を視察

旧第二喜茂別小学校跡地、生ごみ堆肥化施設及び一般廃棄物最終処分場を視察しました。



生ごみ堆肥化施設視察

経済常任委員会

8月3日開催

下水道処理施設視察

留産にある下水道処理施設（きもべつ浄化センター）を視察しました。



下水道処理施設視察

議会改革特別委員会

7月21日開催

議員定数について

議員定数を1減とする条例案を提出することに決定しました。

議会情報公開審査会

会長 小出 浩一郎さん
副会長 佐藤 文枝さん
委員 岩井 真さん
委員 岡崎 純子さん
委員 行天 雄也さん
任期・令和5年7月1日から
令和9年6月30日まで

令和2年度から令和4年度の公文書開示請求及び異議申し立ては、ともにありませんでした。

表紙写真を募集します。

あなたの写真が議会だよりの表紙になります。

詳しくは議会事務局まで

議員研修

北海道町村議会議長会主催議員研修

7月4日、札幌コンベンションセンターにて、北海道町村議会議長会主催の町村議会議員研修が開催されました。

ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長 五百旗頭（いおきべ）真 氏より「ウクライナ危機の世界と日本」、政治ジャーナリスト 田崎史郎 氏より「日本政治の裏舞台」と題しての講演を拝聴しました。



議員研修会

議会傍聴される方へのお願い

- 手洗い・咳エチケットの励行
- アルコール消毒液での手指の消毒
- 体調がすぐれない方は傍聴をご遠慮願います。

次の定例会は9月下旬を予定しております。

町民の方の傍聴をお待ちしております。

日程は、IP告知端末又は議会事務局（TEL 33-2217）で確認ください。

編集後記



7月6日に、総務常任委員会で鈴川小学校、喜茂別小学校、喜茂別中学校を視察させていただきました。

印象的だったことは、どの学校でもタブレット端末を活用して、授業が行われていることだ。書道の授業にまで、それが使われ、他の生徒が書いた書道をおのおのが添削しあうといったものだ。

私が習ったところは、ただひたすらに、お手本通りに書いていただけだった。

他の作品の良いところ、悪いところに気づき、それを互いに教えあうといった内容であり、非常にすばらしい授業であると感じた。

この3年間コロナ禍で思うような委員会活動が出来なかったが、今期は積極的に行って参りたい。

議会広報編集副委員長

岩部 剛